



北村 あや子 区政ニュース

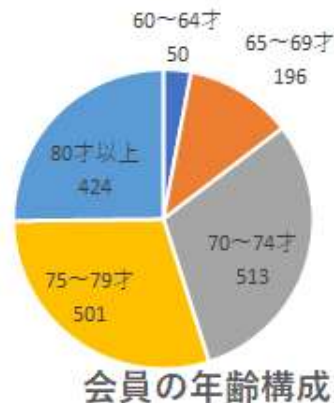
荒川区シルバー人材センターの状況

荒川区シルバー人材センターは1980年2月14日に設立。「社会参加の意欲のある高齢者に対し、就業や社会活動の場を提供し、高齢者の能力を活かす地域社会」をつくることを目的としています。東尾久4丁目に事務所(荒川区授産所も併設)があり、事務局長+正規職員6名、非常勤職員4名の体制で運営しています。

会員数は

2022年度の会員数は1,684名(入会239・退会133)で、コロナ架で会員数は減少しましたが、持ち直して来ています。

年齢別では70代以上が85%を占めています。定年延長や再雇用などで60代は仕事を継続している方が増えているからと思われます。



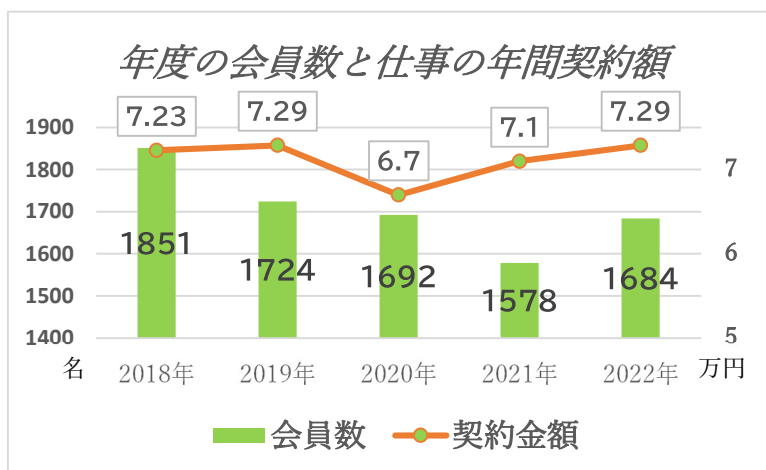
会員さんの最高齢は95才で、就業している方の最

	地区別会員数	平均年齢
西尾久	251	75.6才
東尾久	280	75.4才
南千住	310	76.7才
荒川	272	76.1才
町屋	284	75.8才
東日暮里	181	75.3才
西日暮里	106	76.6才

高は92才です。

月単位で見ると会員さんの約7割が就業し、平均配分金は今年5月では53,218円となっています。

仕事のマッチングが出来ない方もいますが、シルバーでの未就業の方の3割は「他で働いている」と回答しています。



インボイス制度 会員さんに影響が出ないように



シルバー人材センターの会員は雇用ではなく“請負”で会員さんは事業者扱いです。今年10月からインボイス制度が導入されるとシルバーセンターが負担している“消費税分”について、会員負担が発生(6年間の経過措置10%→2%あり)し、手取りが減少すると心配されていました。

日本共産党区議団は、インボイス制度が実施されても「シルバーセンターへの課税や会員負担はやめるべき」と議会で取り上げてきました。区も区委託事業の消費税は区負担、民間発注分は発注者負担を原則として、配分金の減少はさせないと表明しています。フリーランス・個人事業主など弱い者いじめのインボイスは中止、シルバー人材への課税の取りやめを引き続き求めていきます。

8月の法律相談はお休みします。お急ぎの方はご相談ください。生活相談はいつでもどうぞ。

発行:日本共産党議員団 TEL:3802-4627 FAX:3806-9246

e-mail:arajcp@tcn-catv.ne.jp

<北村あや子事務所> 荒川区西尾久2-4-8-1階

TEL&FAX:3894-6668



来年度からの新税・森林環境税とは



2024年度から、新しく「森林環境税」の徴収が始まります。

「パリ協定」による温室効果ガスの排出削減などが目的です。国税ですが、住民税の均等割に1,000円上乗せして自治体が徴収。ただし、2013年度から同様に1,000円上乗せされていた「復興税」が2023年度で終了するため、区民の実質的な負担は変わりません。徴収された税金は、「森林環境譲与税」として全国の自治体へ配分され、森林の間伐や林業の人材育成、木材利用の促進などに充てるとされています。

豊かな森と山村を守り、林業・木材産業の振興のための財源確保は必要ですが、新税の配分や実際の使いみちなどには、疑問の声があがっています。

2024年度からの徴収に先行して、19年度から自治体に「譲与税」の配分が始まっています。ところが、配分方法は「森林面積：人口：林業従事者数」=5：3：2とされ、森林がなくても人口が多い自治体に多額の交付金が配分されています。

森林ゼロの荒川区にも配分

荒川区へも、森林面積ゼロに関わらず3年間で4234万円が交付。区は国内産

国内産木材使用の学習机と椅子



の木材を使用した学習机・椅子(画像)の購入のほか、400万円を公共施設建替えなどの基金(区の貯金)に積み立てています。

23区全体でも、森林面積ゼロですが2021年度7.7億円が交付され、9区で計2.1億円が基金積立にまわされました。2022年度も交付金約8億円のうち、8区で計1.9億円が積立に。23区全体の交付額の2～3割が、使途目的が曖昧なまま、基金に積み立てられている状況です。

【荒川区への交付額】

2020年度	801万2千円
2021年度	1702万6千円
2022年度	1730万2千円

計 4234万円



そのうち400万円が基金積み立てに

国や自治体は本気の気候変動対策を

国は、都市部の木材利用を促進することで、地方の林業に好影響があるとしていますが、「使いみちが分からない」という区もあり、配分方法の見直しなど改善が求められています。暮らしが大変なか住民税に一律課税する一方、原発頼みで温暖化対策が後手後手の政府の姿勢こそ問題です。国が家族経営の農林漁業を大切に国土・自然を守り、森林整備にも本気で取り組む時です。荒川区でも緑化、再生エネルギーをすすめ、身近なところから更なる気候変動対策への取り組みが必要ではないでしょうか。

街の声

*90代母のマイナカードが磁器不良で使えなくなった。「保管が悪かった」といわれ再発行。手数料が1,000円かかった。再発行申請や受取には本人が出向く必要があるが、高齢なので簡単には行けない。



➡代理人にカードの受け取りを委任できますが、本人の来庁が困難であることを証明する書類を提示する必要がある場合があります。特養などの施設でのマイナカードの取り扱いが問題になりましたが、自宅にいる高齢者にとっても管理や更新が難しいと、改めて感じました。

*旧小台通り**防災スポットの管理**は誰が行うの？片方は住民が草取りしているが、反対側は草ぼうぼう。

➡協定に基づき日常の管理、清掃やごみ捨てなどは町会がやることになっているそうです。ただし、手に負えないような場合は区で対応すると言っています。「草が茂りすぎていて、この猛暑の中対応できないようでしたら、区がやります。」と課長さん。



*毎日暑くて暑くて体がもたない。だけど、エアコンなどで電気代が心配…。

➡**酷暑で不調**を訴える方が増えています。熱中症には「水分補給」と「暑さを避ける」ことが大切です。ふれあい館や図書館、スポーツハウスなどの「まちなか避暑地」も活用してください。